

4.研究助成

A. 第53回 三越医学研究助成 （総額2,420万円）

当事業団は生活習慣病その他重要な疾病の予防・撲滅に寄与する医学研究を発展させることを目的に東京都内ならびに東京都近隣の大学医学部、医学研究施設、病院等を対象に、生活習慣病とその治療を中心とした研究課題について広く公募し、助成対象者を選抜して助成金を交付している。2025年度の応募総数は13件で、そのなかより厳正な審査をへて受賞者6名を決定した。なお、11月25日(火)京王プラザホテルにて三越医学研究助成贈呈式を開催した。

<募集・選考日程>

- 3月31日(月) 『募集研究課題設定委員会』を開催し研究課題決定
公募を開始（募集締め切り7月15日）
- 8月15日(金) 審査員を決定し審査委員長を選任して『審査委員会』を設置
- 9月29日(月) 『助成選考委員会』を開催し助成対象者、助成金額を決定

1. 研究課題の決定

- 研究課題1 「画像診断の進歩及び臨床応用(基礎的研究も含む)」
- 研究課題2 「動脈硬化予防における食事療法の最新研究」
- 研究課題3 「動脈硬化発症、進展に際して起こるinflammasome活性化の機序と対策について」

2. 審査委員会による研究課題審査

<審査委員>

- | | | |
|-------|-------|------------------------------|
| 審査委員長 | 水野 杏一 | (公益財団法人 三越厚生事業団 常務理事) |
| 審査委員 | 石原 正治 | (兵庫医科大学 循環器内科 主任教授) |
| | 南 尚賢 | (北里大学医学部 循環器内科学教室 講師) |
| | 吉田 博 | (東京慈恵会医科大学附属柏病院 病院長) |
| | 中村 治雄 | (公益財団法人 三越厚生事業団 顧問) |
| | 山下 毅 | (公益財団法人 三越厚生事業団 理事・三越診療所 所長) |

<審査・選考>

研究課題テーマごとに専門分野の審査員を選任し評価を行った。外部審査員と事業団審査員を審査員とし、透明性のある審査を実施した。
評価にあたっては総合点により上位者を助成対象者とした。

3. 助成選考委員会

審査委員会による審査結果を受けて「助成選考委員会」を開催し、助成対象者および助成金額を決定した。

第53回 三越医学研究助成受賞者

氏名	所属機関	研究課題
研究課題①「画像診断の進歩及び臨床応用(基礎的研究も含む)」		
方山 真朱	自治医科大学附属さいたま医療センター 集中治療部 部長	重症患者における電気インピーダンストモグラフィ(EIT)を用いた新しい肺血流評価法の検証：人工呼吸の影響を補正する新手法の確立
鈴木 啓士	日本医科大学付属病院 循環器内科 助教	冠動脈CTを用いたPCSK9阻害薬の冠動脈不安定プラークに対する効果の検証（血管炎症の観点から）
関根 鉄朗	日本医科大学 臨床放射線医学 准教授	MRI simulatorを活用した4D Flow MRIにおけるデータ同化技術の開発
吉岡 和香子	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第一部 科研費研究員	超希少難治性筋疾患の診療に直結する骨格筋画像エビデンス創出研究
研究課題② 動脈硬化予防における食事療法の最新研究		
吉田 輝彦	東京大学医学部附属病院 講師	脂質メディエーターとリポタンパク分布による動脈硬化予防研究
研究課題③動脈硬化発症、進展に際して起こるinflammasome活性化の機序と対策について		
新井 洋平	東京科学大学病院 血液浄化療法部 特任助教	クローン性造血(CH)と後天性Y染色体喪失(mLOY)から紐解くインフラマソーム活性化を介した動脈硬化の病態と治療戦略の解明

B. 第26回 三越海外留学渡航費助成 （総額1,400万円）

当事業団では海外での医学研究や医療技術習得を志す若手医学者ならびに海外渡航中で留学先受け入れ研究機関の研究指導者の推薦がある者に対し、留学費用の一部として渡航費の助成を行っている。2025年度も東京都ならびに東京都近隣の大学医学部、医学研究施設、病院等を対象に4月より公募を開始し、6月末の締め切りまでに31名の応募があり、「選考委員会」による厳正な審査の結果、以下の7名の助成対象者を決定し、8月18日に助成金を交付した。

第26回 三越海外留学渡航費助成受賞者

氏名	所属機関	留学先	研究課題
小田 康弘	東京大学医学部附属病院 届出研究員	セントルイス・ワシントン大学	腎臓病の進行における選択的スプライシングの役割の解明
高橋 利奈	慶應義塾大学 医学部 腎臓内分分泌代謝内科 共同研究員	ルンドクイスト研究所 (ハーバーUCLA)	週2回透析導入による透析治療パラダイムシフトの実現を目指した世界初RCT
高谷 健人	慶應義塾大学 医学部 助教	アリゾナ大学医学部 外科	機械的シグナル伝達に基づく線維化性異物反応の多階層解析と細胞特異的介入法の確立

氏名	所属機関	留学先	研究課題
永井 晋平	独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院 産婦人科	オックスフォード大学ナ フィールド婦人・生殖 健康学科・ウェザラル 分子医学研究所	p62介在型フェロトース制御機構を 標的とした卵巣癌新規治療戦略の開発
沼田 賢治	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教	ブリガム・アンド・ウイメ ンズ病院	日本の救急外来における終末期医療 教育プログラムの開発と評価
李 慶賢	順天堂大学大学院 医学研究科 生化学・細胞機能制御学 非常勤助教	カロリンスカ研究所	脂質代謝異常によるシャペロン介在性 オートファジー (CMA) 機能不全と心筋 症:心肥大の改善を目指した新規治療 介入の探究
脇田 真希	日本医科大学付属病院 循環器内科/心臓血管集中治療 科 助教	ハーバード大学附属 マサチューセッツ総合 病院	光干渉断層法(OCT:Optical Coherence Tomography)による冠動 脈プラーク性状の性差解析に基づく 個別化循環器医療の構築

医学研究助成および海外留学渡航費助成年度別交付状況

(金額単位：万円)

年度	種別	三越医学研究助成			三越海外留学渡航費助成		
		回数	件数	金額	回数	件数	金額
昭和48年度	第1回	15	1,000				
昭和49年度	第2回	9	500				
昭和50年度	第3回	10	600				
昭和51年度	第4回	9	600				
昭和52年度	第5回	7	1,000				
昭和53年度	第6回	8	1,000				
昭和54年度	第7回	4	1,000				
昭和55年度	第8回	5	1,000				
昭和56年度	第9回	7	1,000				
昭和57年度	第10回	6	700				
昭和58年度	第11回	3	410				
昭和59年度	第12回	4	500				
昭和60年度	第13回	3	500				
昭和61年度	第14回	3	500				
昭和62年度	第15回	5	600				
昭和63年度	第16回	8	1,000				
平成元年度	第17回	7	1,000				
平成2年度	第18回	8	1,000				
平成3年度	第19回	8	1,000				
平成4年度	第20回	7	1,000				
平成5年度	第21回	6	1,000				
平成6年度	第22回	8	1,000				
平成7年度	第23回	9	1,000				
平成8年度	第24回	8	1,000				
平成9年度	第25回	9	1,000				
平成10年度	第26回	6	1,000				
平成11年度	第27回	7	1,000				
平成12年度	第28回	6	1,000	第1回	5	250	
平成13年度	第29回	7	1,000	第2回	3	150	
平成14年度	第30回	8	1,000	第3回	1	50	
平成15年度	第31回	7	1,500	第4回	3	150	
平成16年度	第32回	9	1,500	第5回	2	100	
平成17年度	第33回	8	1,460	第6回	2	100	
平成18年度	第34回	7	1,500	第7回	2	100	
平成19年度	第35回	5	1,250	第8回	1	50	
平成20年度	第36回	9	2,050	第9回	0	0	
平成21年度	第37回	4	900	第10回	2	200	
平成22年度	第38回	5	1,050	第11回	5	300	
平成23年度	第39回	3	840	第12回	3	180	
平成24年度	第40回	2	429	第13回	5	250	
平成25年度	第41回	3	550	第14回	4	200	
平成26年度	第42回	3	459	第15回	6	300	
平成27年度	第43回	3	550	第16回	5	250	
平成28年度	第44回	3	570	第17回	6	300	
平成29年度	第45回	4	690	第18回	6	600	
平成30年度	第46回	3	600	第19回	2	160	
令和元年度	第47回	3	500	第20回	3	300	
令和2年度	第48回	2	350	第21回	2	200	
令和3年度	第49回	3	400	第22回	3	300	
令和4年度	第50回	3	500	第23回	3	300	
令和5年度	第51回	4	500	第24回	3	300	
令和6年度	第52回	4	800	第25回	5	500	
令和7年度	第53回	6	2,420	第26回	7	1,400	
合計		313	47,278		89	6,990	